

今年のGWの房総への観光客は去年の140%も多くの人達でにぎわったとテレビが報じて居りました。夕方君津を帰る車はスカイライン栗倉出口から君津ICまでつながって、木更津JCからアクアラインまでは90分と渋滞が標示されて居りました。

2日から3日と行われた久留里商店街の「GW手作り体験・武者体験」も街にあふれる程の人出はなかったものの、昼食時の飲食店は何処も満席で、私達は「鳥健さん」の店頭にてメンチカツとやき鳥での昼食となりました。

路上を歩いて通り過ぎて行く人よりも、各お店に入り込んで、親子・家族で体験され楽しく遊ぶ催しに人気が集ったイベントでありました。昨年訪ねた会津若松の商店街を思い出して居りました。これからはこの町の特長をもっと生かして、まち全体が連動してくれたならもっと楽しみであります。

久留里は何と言っても酒造りの町であります。まさに目に青葉、「濁膠(とぶろく)」の季節であります。

私自身、日本酒党の「のんべえ」をもって任じておりますので、久留里の酒造家の方達には、先日北総の町あげでの「日本酒祭り？」は、やり過ぎとまで言われましたが大好評でした。是非一肌ぬいで下さる様お願いしたいです。

鳥健さんの店を出た所で「福祝」のおかみさんに声をかけられ「濁り酒」を数本買って帰ると、名古屋から帰省していた孫から「じいちゃん！これは旨い酒だから土産に持って行くよ」と言われました。

帰省する人達が千葉の土産として持ち帰ってくれる事は嬉しい事でした。

昨年秋、亀山に招かれた時、私は来年の亀山には百万人の人が訪れますよ！！と挨拶しましたが、GWの亀山は大変なにぎわいで百万人を超える人気ぶりでした。

私はGWの1日から6日まで市内外を回遊しましたが、幹線道路の大渋滞に反して、田舎道、村落への入込みは少なく静かでした。昔から大渋滞する観光地へは二度と行きたくないと言われます。もっと田舎道、廻り道、ちいさな村の名所等を案内する必要があるのかも知れません。

君津の観光の主役は、水から生まれた農産物と飲食店かと思えます。その飲食店が今苦戦をして居ります。飲酒運転取締りも一つの要因ですが、この対策は知恵で解決したいと思います。

最近、飲食店主の経営相談で気がついた事は、君津の飲食店は売上額と家賃のバランスであります。全国の個人飲食店の調査報告は、店舗面積20坪、年間売上1078万円(月平均90万円)月坪当4万5千円売上が年均であります。標準家賃は売上げの5.9%です。前比の家賃は5万3千円が標準であります。仮に内装工事の償却を含めても売上の15%以内でないといこの商いは成立しません。これ以上になると、余程立地条件が良いか、ブランド力がないと無理だと言われます。

観光の主役、飲食店の売上げと家賃。それにしても最近の飲食、居酒屋のスケールは5坪から10坪以内の方が効率、採算がよい様です。家主さんも小型化を検討して下さい。

これからは家主と店子が運命共同体として飲食街を育てる努力が必要です。

